



「燃ゆる感動かごしま国体」出水市開催基本方針

国体を開催するにあたり、どのような方針で開催するのかという基本方針を策定しています。今回は、その開催基本方針をお知らせします。

基本方針



第75回国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」は、市民が夢と希望を持ち、心に残る大会を目指し、市民総参加のもと、出水市らしさを活かした大会として開催します。

大会の開催にあたっては、簡素・効率化を図りながら、出水市の多彩な魅力を全国に発信することを目指します。

大会の開催を契機として、競技力向上はもとより、広くスポーツを普及・振興するとともに、出水市の自然、伝統・文化を広く紹介し、多様な交流をとおして、出水市の基本構想である「人と自然が融和した にぎわいある元気都市 出水市」の実現を目指します。

実施目標

1 市民が夢と希望を持ち心に残る大会

市民が国体開催という目標を共有して総力を結集し、相互の連帯感や郷土意識を高めるとともに、国体後も夢と希望にあふれ、未来へつなぐ大会を目指します。



2 スポーツの普及・振興を図る大会

国体を一過性のスポーツイベントに終わらせず、国体開催を契機として市民の積極的なスポーツ参加の促進やスポーツ水準の向上など、広くスポーツを普及・振興し、市民の健康増進や体力向上を図るとともに、ウエルネスのまちづくりを目指します。

3 簡素・効率化を図る大会

近年の経済状況や公益財団法人日本体育協会が進める国体改革の趣旨等を踏まえ、市内の既存施設の有効活用やボランティアスタッフの積極的活用など大会運営の簡素・効率化を図り、人的・財政的負担が過重にならないよう、出水市にふさわしい魅力と活力あふれる大会を目指します。

4 出水市の魅力を発信する大会

出水市の素晴らしさを感じるような心のこもったおもてなしをするとともに、紫尾山や米ノ津川をはじめとする美しく雄大な自然、出水平野を舞う万羽ツル、先人より受け継いできた文化や伝統、出水麓武家屋敷群をはじめとする史跡、そして豊かな食文化など、出水市の誇れる魅力を余すことなく全国に発信する大会を目指します。

この開催基本方針をもとに、国体開催準備を進めて参りますので、市民の皆様も出水市にいらっしやる選手・監督、役員等の皆様へ心温まるおもてなしでお迎えください。

～～国体競技について知りたいっ！！～～

出水市で開催される国体競技のうち、第4号では正式競技「弓道」競技を紹介します。

弓道

種別：成年男女、少年男女

競技会場：近的：出水市総合体育館特設近的会場

遠的：出水市陸上競技場特設遠的会場

【ルール】

弓を使って矢を放ち、的を射って競う競技です。使われる的の種類や射距離によって、2つの種目（近的・遠的）があります。国体では、1チーム3人の同じ選手が両種目を行い、制限時間内に、予選では各自4射ずつを2回、決勝では各自4射を1回行います。

〈遠的〉

60m先の的（直径100cm）を狙います。的の中心に近くなるほど得点が高く、的に当たった矢の合計点で競います。

〈近的〉

28m先の的（直径36cm）を狙います。的のどの部分にあってもよく、的に当たった矢の本数で競います。



日本最古の武道といわれるスポーツ



弓道の弓には、照準器（狙いを定めるための装置）が付いていないため、自分の体幹だけを頼りに、狙いを定めます。弓を引く力強さと流れるような美しい一連の動作、研ぎ澄まされた集中力で放たれた矢が、的に的中する瞬間は見応えがあります。また、静止不動の的に対し、当たり外れがはっきり見えて、一本一本をよく味わいながら楽しむことができます。



【薩摩日置流（へきりゅう）腰矢・指矢】

～弓道各流派のうち、実践における作法を今に伝える～

射法は、腰矢では奇数偶数交互に矢を放ち、指矢では集団による一斉早撃ちで遠くからの的を圧倒し、両翼は左右後方で敵を制圧しながらじりじりと前進します。射法は全て低姿勢で、敵に絶え間なく矢の雨を浴びせて敵陣に突入するという戦法です。

島津第28代藩主斉彬が家臣の東郷実敬に弓を主体とした戦法の研究を命じて以来、代々継承してきたものですが、明治20年に出水麓の溝口武夫翁が伝承者となり、その後、出水弓道会が引き継いできました。

同会は毎年、溝口、伊藤翁の命日にこの弓術を演武しています。1964年 東京オリンピック、1970年 大阪万国博覧会、1972年 太陽国体（鹿児島国体）で披露し、出水兵児の気風と共にその名を広めました。



燃ゆる感動かごしま国体出水市実行委員会事務局（出水市産業振興総務課国体準備室内）

〒899-0292 鹿児島県出水市緑町1番3号

電話 0996-63-4777 FAX 0996-63-1331

※ メールアドレスが新しくなりました！

E-mail kokutai@city.izumi.kagoshima.jp